

ビジョン展開シート

あるべき姿	重点目標	現状	課題解決のための取組				評価の視点や方法	
			取組内容	いつ	誰が	何を		どのように
<p>○ 答えがないリアルな現場の課題に対応</p> <p>○ 科学的な根拠をもとに、アットな問題解決の実践</p> <p>○ 創発的なプロセスに生徒を巻き込む</p>	<p>○ 答えのない時代において、商業の学びを活かし、新たな価値を生み出し地域課題を創造的に解決する人材を育成する。</p>	<p>● リアルな課題を創発に解決でき</p> <p>● 地域課題の入り口としてフューチャーセンター</p> <p>● 創発的なプロ具タムの学びを提供</p>	<p><b>1年生</b></p> <p>ビジネス基礎 <u>マーケティング</u> LHR LHR 簿記</p>	<p>前期 通年 10月 12月 2月</p>	<p>教科担任 教科担任 学級担任 国語科副担任 教科担任</p>	<p>ビジネスの基礎基本 <u>協調学習</u> キッズタウン ビブリオバトル ビジネスボードゲーム</p>	<p>事例を交えながら講義 <u>事例を元に課題解決の提案</u> コマソウル都商で小学生向けイベント 本の紹介とプレゼン 経営者の視点で多角的に考える</p>	<p>視点: 経営者の視点や地域への主体性 方法: 定性評価 当期純損益の算出 ワークシート</p>
			<p><b>2年生</b></p> <p>総合的な学習の時間 <u>広告と販売促進</u> 総合的な学習の時間 インターンシップ</p>	<p>前期～後期はじめ  前後期各1回 後期</p>	<p>学級担任 副担任 商業科 外部指導者 教科担任  担任 進路指導部 2学年・進路担当教科</p>	<p>コマソウル都商 販売実習 マナー指導  <u>第1章 販売促進</u> <u>第5章 販売員活動</u> 進路意識の高揚  地元企業で職業体験</p>	<p>各係分担を行い、中心市街地で販売実習 組織化 学年全体で外部講師講話 つなぐ力  <u>具体的な企業を用いながらケース教材</u> 3年生の状況や求人票、推薦基準の伝達 職業選択の一助</p>	<p>視点: クラスの店舗運営や地域への主体性 方法: 実習評価 定性評価</p>
			<p><b>3年生</b></p> <p><u>課題研究</u>   総合実践</p>	<p>通年</p>	<p>教科担任 大学教員 地域団体  教科担任</p>	<p><u>フューチャーセンター</u> 商品開発 生徒商業研究 クーポンマガジン発行  模擬取引</p>	<p><u>答えの無い問題に対し科学的な根拠をもとに基づいてアットな課題解決</u> 地元企業に商品企画依頼 高齢者クラブと連携・プレゼン  ICT活用</p>	<p>視点: 地域への主体性 投票行動を起こしたか 実践力が身についているか  方法: 課題研究評価表 生徒参加型評価 地域からの客観的な定性評価</p>
			<p><b>職員</b></p> <p>校内研修 (OJT)  校外研修 (Off・JT)</p>	<p>年2回 年2回 月1回 通年  年2回</p>	<p>職員 外部講師 学校全体  職員</p>	<p>AL 研究授業 AL 研修 カリキュラムマネジメント  宮崎県研修センター 公開授業</p>	<p>研究授業 外部講師講話、ワーク カリキュラムマネジメント検討委員会 空き教室の検討 (対話型教室)  主体的・対話的で深い学びの研修機会 スーパーティーチャー等の授業公開 地域資源の活用及び創発プログラムの対応</p>	<p>視点: カリキュラムマネジメントの視点 実践力  方法: 定量評価 定性評価</p>

生徒

答えのない時代において、商業の学びを活かし、新たな価値を生み出し地域課題を創造的に解決する生徒を育成する。



**幸せ（笑顔）  
あふれる都商**

商業として  
つながり・信頼・組織化

未来思考でバックキャスト

- 答えがないリアルな現場の課題に対応
- 科学的な根拠をもとに、アートな課題解決の実践
- 創発的なプロセスに生徒を巻き込む

3年生

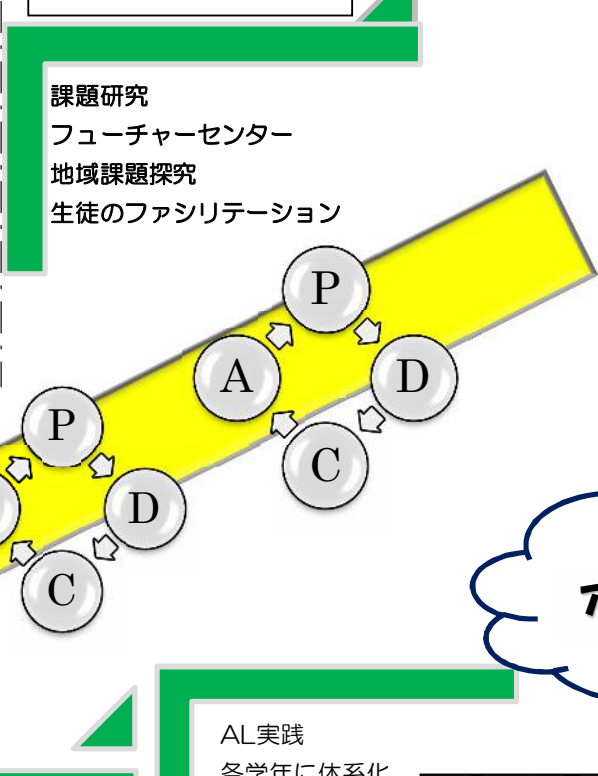
2年生

1年生

ビジネスゲーム  
ケース教材（マーケティング）  
キッズビジネスタウン

コマースウル都商  
販売実習  
マナー指導  
ケース教材（広告と販売促進）

基本ベース  
科学的な根拠  
論理的な思考+対話



**学校全体を  
アクティブ・ラーニング化**

- リアルな課題を創発に解決できる
- 地域課題の入り口としてフューチャーセンター
- 創発的なプログラムの学びを提供

校内研修  
外部講師より  
カリキュラム全体計画作成  
AL研修

AL実践  
各学年に体系化  
AL振り返り  
評価

- 教師の取り組み
- 創発プロセスの器となること
  - 地域との信頼関係を強固とすること

1年目

2年目

職員